



## 1 「市民協働のまちづくり」とは

地域の住民の方々、企業、団体、行政がお互いに話し合うことでつながりを強め、地域の資源や特質を活かして、魅力的で活力のある地域づくりを行っていかうということです。

## 2 どのように進めるのか

各地区(旧市町村)で「地域まちづくり組織」をつくり、この組織が主体となって取組んでいくこととしています。

この組織の範囲としては、小学校区、中学校区、旧村単位、神林地区全体などの範囲が考えられます。

神林地区地域審議会から「顔のわかる、話し合いがしやすく、身近に感じる範囲よい。」としまして、小学校区単位が適当ではないかと意見をいただき、地理的にも近く共通点もある小学そして、具体的な取組み方につきましては、地域まちづくり組織で計画していくこととなります。

## 3 おおまかなスケジュール

集落自治会及び各種団体への説明と意見の把握(9月頃まで)

地域まちづくり組織の設立準備(どのように設立準備をしたらよいか意見交換)

地域まちづくり組織の発足(事業計画予算の審議)

## 今なぜ

村上市の各地域で人口の減少と少子高齢化の進行の度合いが、生活の基盤を揺さぶり始めてきているといわれています。また、個人の生活様式が多種多様化してきていることにより、地域のコミュニティが薄れ、いろいろな弊害が出始めているとも言われています。

「市民協働のまちづくり」は、自分たちが生活している地域のことを、みんなで考え取組んでいかうということで、始めるものです。

また、市職員も地域に密着して「市民協働のまちづくり」を進めることとしています。

## 各地区の取組み

ア 荒川地区・・・これまで旧荒川町全体でイベント等をやってきたことから、保内地区とか金屋地区とかに分けずに、一つの組織で取組んでいくこととしています。

イ 村上地区・・・公民館組織(村上地区、岩船、上海府、瀬波、山辺里の各分館)を引継ぐ形で取組んでいきます。

ウ 朝日地区・・・朝日地区では、旧小学校区の5つ(猿沢、館腰、三面、塩野町、高根)で組織し、各集落に文化、スポーツ等のイベントを行う公民館が組織されていますので、この公民館が中心となって取組んでいきます。

エ 山北地区・・・山北地区では以前から地域おこしが行われています。「週末百姓やってみ隊」や「夢21・さんぼく塾」などです。また、集落で地域づくりを積極的に行っているところもあります。これからの話し合いで、小学校区の2つで組織したいとしています。

## 市民協働のまちづくりの推進に向けて

村上市“市民協働のまちづくり”は、一言でいうと「地域活性化支援」です。

このため、市としては「人的支援」と「財政支援」を行い、本市の各地域が抱えている課題や活性化のための各種活動を支援し、定住の里づくりを推進しながら、元気な村上市を創造します。

### 活気ある元気な村上市の創造

#### 市民協働のまちづくり

《町内・集落、地域》

- ・ 特色ある地域づくり
- ・ 地域の活性化・元気づくり



《村上市》

- ・ 人的支援(H23～)
- ・ 財政支援(H24～)

#### 具体的推進手法

地域まちづくり組織の  
設置・活動

(小学校区や旧地区単位)

事業・活動内容

地域の課題解決、地域振興及び住民交流  
健康及び福祉の増進  
安全及び安心  
地域資源の有効活用  
地域の産業振興  
コミュニティビジネス等地域経営  
その他まちづくりに関すること

《人的支援》H23年度～  
担当職員の配置

組織づくり支援

コーディネート

全市職員の地域参加・貢献

《財政支援》H24年度～

地域まちづくり交付金制度  
の実施

(使用目的に制限を加えない  
交付金を想定)